



日 輪

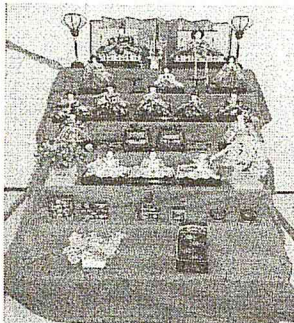
ほんこうきょういくもくひょう
本校教育目標
ふれあおう 楽しもう 学びあおう

へいせい ねん ど がっこう
平成22年度 3月号

やよい
弥生

よこはましりついできたしやうがっこう
横浜市立飯田北小学校
こうちやう むとう まきこ
校長 武藤 牧子

がっこうちやう むとう まきこ
学校長 武藤 牧子



3月の桃の節句を前に、2階渡り廊下に飾られた雛人形たち。
今年も、飯田北小の子どもたちの健康を願いながら飾りました。
3月3日の桃の節句は女子の節句のされ、5月5日の端午の節句は男子の節句とされてきました。

『記録への挑戦』

春を思わせる穏やかに昼下がり、ロング昼休みを利用した『ギネス大会』が行われました。鉄棒ぶら下がりケンケン相撲、紙切り競争など15の種目の中から自分で選択した種目に挑戦します。前半後半15分ずつで長くても30分の挑戦です。子どもたちは、記録をカードに記入し、最後に学校のギネス記録を表に書き込んでいました。



子どもたちの中から思わず歓声が上がったのが「フラフープ回し」でした。3年生の森さんは、「用意 はじめ。」の号令で回し始めると、「終了。」の合図までずっと30分間回し続けていました。周りで挑戦している子が終わって次々に人が変わってもただ一人ずっと笑顔で回し続けていました。ギネス大会の時間の終わりとともに挑戦の時間も終了しました。集会委員が「どうでしたか。」とインタビューすると「楽しかった。」と答えていました。見ていた私もどこまでできるのか、時間があれば限界まで挑戦させてあげたいと思いました。

また、先日の縄跳び集会でもそれぞれの学級が目標を決めその回数に挑戦していました。なわとび集会当日まで、休み時間になると校庭は縄跳びをする子どもたちでいっぱいでした。大縄は、担任も縄を大きく回したり数を数えたりと子どもと一体となって練習に参加していました。

今では子どもたちへの声かけとして余り使われなくなった 努力、根性、一生懸命という言葉は、以前は、当たり前のように言われてきた言葉です。それは、子どもたちが可能性をもっているからこそ、今よりもっとできるはず、と期待を込めて使われていた言葉であり、子どもたちも自分を信じ、それにこたえようと必死に取り組んでいたように思います。

大縄の練習やギネス大会の子どもの様子を見て、子どもたちが自分の持っている力を発揮するためには、多少の困難や難しい課題が大事であると感じました。すぐ達成できることでの喜びとは違う、苦労し、努力を積み重ねた結果得た喜びは、何物にも代え難い自分を信じる力につながるように思います。

飯田北の子どもたちには、精一杯頑張っで自分の力を出し切ろうとする姿やまじめに一生懸命課題に取り組む姿を認め励まし合える子どもたちになってほしいと思います。

平成22年度の教育活動も3月を残すところとなりました。保護者の方、地域の方々とのふれあいを通した学びが子どもたちの心を育てていることは確かです。1年間、子どもたちを温かく見守り支えていただきましたことに感謝申し上げます。

◇お知らせとお願い◇

◎グリーンベルトができました！

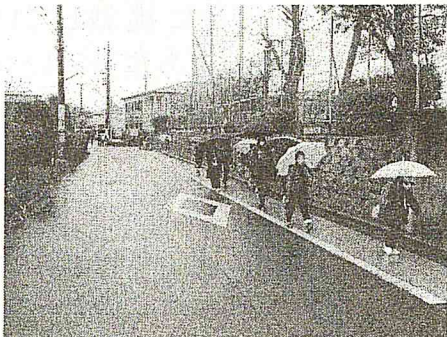
学校正門側道路沿いに、鮮やかなグリーンベルトが描かれました。これまでは車道と歩道を分ける白線のみ引かれていましたが、今年度のスクールゾーン対策協議会での要望として実現しました。子どもたちには、毎日の登下校、グリーンベルトに乗って楽しく安全に歩いてほしいと思います。

また、着色工事の時に土木事務所の方にお聞きしたところ、このグリーンベルトは、本来は歩行者というより車の運転手に「歩道」をよりしっかりと意識してもらうためにあるとのこと。中央分離線の無い学校前の通学路です。グリーンベルト内に車が駐停車してしまうと・・・

●歩行者(児童)が道路にはみだし、とても危険！

●特に登下校時は、道路中央まで広がってしまうことも！

です。子どもたちの安全のため、正門付近グリーンベルト内への駐停車はしないようお願いいたします。学校においても、子どもたちへの安全指導、歩行指導等繰り返し行っていきたく思います。それぞれの意識を高め合い、交通事故から子どもたちを守っていきましょう。



◎横浜市学習状況調査

先月全学年で行われました横浜市学習状況調査、横浜市の平均データが出そろった後、3月中旬をめどに一斉返却したいと思います。

◎学校納入金について

1年間引き落とし・納入等ありがとうございました。まだ未納分がある方は、至急学校までお願いします。(年度末諸会計締め・決算のため)